

大地震発生時の対応について

体操専門部

大会期間中に大地震が発生した場合

一時避難

大会開催中に地震が発生した場合は、生徒の安全を第一に考え、次のようなポイントを踏まえて、冷静かつ的確に指示し、行動させる

- *まず身の安全を図り、揺れがおさまるまで様子を見る
- *窓や戸を開け出口を確保する
- *転倒物・落下物などに注意する…衣類等を使って頭を守る
- *あわてて外に飛び出すと瓦やガラス、看板などが落ちてくるので注意する
- ~~*緑が丘体育館の一時避難場所は、駐車場になっているため、自分の靴は下足箱を使わず、自分の荷物と一緒に管理することを徹底させる。~~

避難場所への誘導と安全確保、安全な帰宅

生徒を避難場所へ誘導後は、以後の安全を確保しつつ帰宅方法を検討し、可能な限り早急に帰宅させる（状況によって帰宅が不可能な場合もある）

- *家庭または学校への連絡が可能であれば安否報告を行う
- *家庭に連絡が取れた場合は帰宅方法を確認し、安全な方法を相談する（できるだけ保護者に引き取りにきてもらうことがのぞましいが状況による）
- *家庭に連絡が取れない場合は、児童生徒のみで帰宅させるか、そのまま待機させるか、落ち着いて最も安全な状況判断をする

大会実施状況の記録

大会開催中（競技中）に災害が発生した場合は、以後に再開することを考慮して大会の進行状況、試合途中経過等の記録を残すようにする。

その記録をもとにどのような形で再開するかを検討するための材料とする。

避難時の情報収集

災害発生時には、可能な限り以下のような情報収集に努める

交通情報…鉄道路線、バス路線、交通渋滞、高速道路状況など

気象情報…警報・注意報、地震の規模や震度、今後の余震の状況など

ライフラインの切断・復旧状況

救援・救護の状況